



公開ワークショップ
「地域環境と資源の持続可能性」

主催：広島大学 SATO インキュベーション研究拠点
共催：広島大学総合科学部推進プロジェクト、陸域環境研究会

開催趣旨；

2030年までに達成すべき持続可能な開発目標（SDGs）は、水資源や里山・里海の保全など自然環境に関わる目標から、まちづくりやパートナーシップなど人間活動に関わる目標まで17項目からなります。

今回は、広島県における瀬戸内海に浮かぶ大崎下島とともに東広島市の地域環境と資源の持続可能性について、様々な角度から迫り、議論したいと思います。

日時 2022年3月18日（金） 13時30分～17時

場所 広島大学総合科学部 M棟2階 多目的室（無料）、Zoom配信

* コロナ禍のため、入場およびZoom参加も事前受付のみ。

* 待機室にて事前受付者を確認ご入室

開会挨拶・趣旨説明 13時30分～13時40分

SATO インキュベーション研究拠点 小野寺真一

講演 13時40分～15時40分

長坂 格ら（広島大学）大崎下島の生活史からみた社会・環境の持続可能性

更科安春ら（一社・まめな）大崎下島での活動の進展とSDGsへの貢献

小野寺真一ら（広島大学）地下水資源の利用ポテンシャルと再利用の実践

古田詩乃ら（広島大学・学2年）海岸ごみの実態調査とその環境教育への展開

田中貴宏ら（広島大学）東広島市における木質バイオマスのエネルギー利用ポテンシャル

評価とその利用の持続可能性

Kimbi, Sharon（広島大学・大学院生）東広島市西条における水環境について

総合討論 15時40分～16時00分

コーディネーター・事前受付先

小野寺真一 広島大学大学院先進理工系科学研究科

082-424-6496

sonodera@hiroshima-u.ac.jp